

消化器科 学会参加報告

2025年2月7日～8日

①第173回 日本消化器内視鏡学会東北支部例会

②第218回 日本消化器病学会東北支部例会

会場：仙台国際センター

参加者：藁谷, 菊地, 上田, 関根, 今井, 渋谷 (研修医)

発表演題 (①②は上記に記載)

菊地②「胆嚢炎治療後の保存的加療例における胆石関連合併症発生の後方視的検討」

上田②「内視鏡的胆道ドレナージで閉塞や逸脱を繰り返した浸潤性IPMCによる
粘液性閉塞性黄疸に対し、経皮経肝胆道ドレナージで改善した1例」

関根①「2度の出血を来し、止血鉗子、吸収性局所止血材、組織接着剤で止血が得られた
切除不能胃癌の1例」

今井①「右側結腸出血を来し、Heyde症候群が疑われた2例」

渋谷②「PBC-AIH overlap に自己免疫性胃炎、特発性血小板減少性紫斑病を合併した一例」



仙台で開催された学会に各自演題をもって臨みました。初期研修医の今井先生、渋谷先生は共にプレナリーセッションという大きい舞台でこれからの医師人生の糧となる貴重な経験をしたと思います。不在期間中、様々なサポートをしていただいた病院の方々に厚く御礼を申し上げます。

作成：藁谷